

がわしま



議会だより

9月定例会

No.90

平成22年10月21日

9月定例会審議結果

委員会のうごき

所管事務調査

一般質問 町の考えを問う



こう使われ

平成21年度決算

一般会計（一人当たり：29万6,062円）

<p>人件費</p>  <p>一人当たり 6万7,824円 (15億2,469万円)</p>	<p>普通建設 事業費</p>  <p>一人当たり 3万9,406円 (8億8,587万円)</p>	<p>物件費</p>  <p>一人当たり 4万6,984円 (10億5,620万円)</p>	<p>繰出金</p>  <p>一人当たり 3万3,816円 (7億6,019万円)</p>	<p>公債費</p>  <p>一人当たり 3万2,357円 (7億2,738万円)</p>
<p>補助費</p>  <p>一人当たり 4万7,908円 (10億7,697万円)</p>	<p>扶助費</p>  <p>一人当たり 2万2,152円 (4億9,797万円)</p>	<p>積立費</p>  <p>一人当たり 1,574円 (3,538万円)</p>	<p>維持補修費</p>  <p>一人当たり 4,041円 (9,084万円)</p>	<p>投資及び出資 金・貸付金</p> <p>出資</p> <p>一人当たり 0円 (0円)</p>

町人口22,480人（平成22年3月31日現在）（ ）内は総額

平成21年度 特別・企業会計決算

会計名	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額
国民健康保険特別会計	21億8,342万円	21億2,099万円	6,243万円
学校給食費特別会計	9,316万円	9,302万円	14万円
下水道事業特別会計	9億5,412万円	9億3,250万円	2,162万円
老人保健特別会計	1,796万円	912万円	884万円
介護保険特別会計	11億8,066万円	11億4,696万円	3,370万円
後期高齢者医療特別会計	1億4,777万円	1億4,459万円	318万円
水道事業会計	事業収益	事業費用	純利益
	4億9,355万円	4億6,556万円	2,799万円
	資本的収入	資本的支出	収支差引額
	2億5,501万円	4億8,007万円	△2億2,506万円

※水道事業会計の収入不足については、損益勘定留保資金などにより補てんしています。

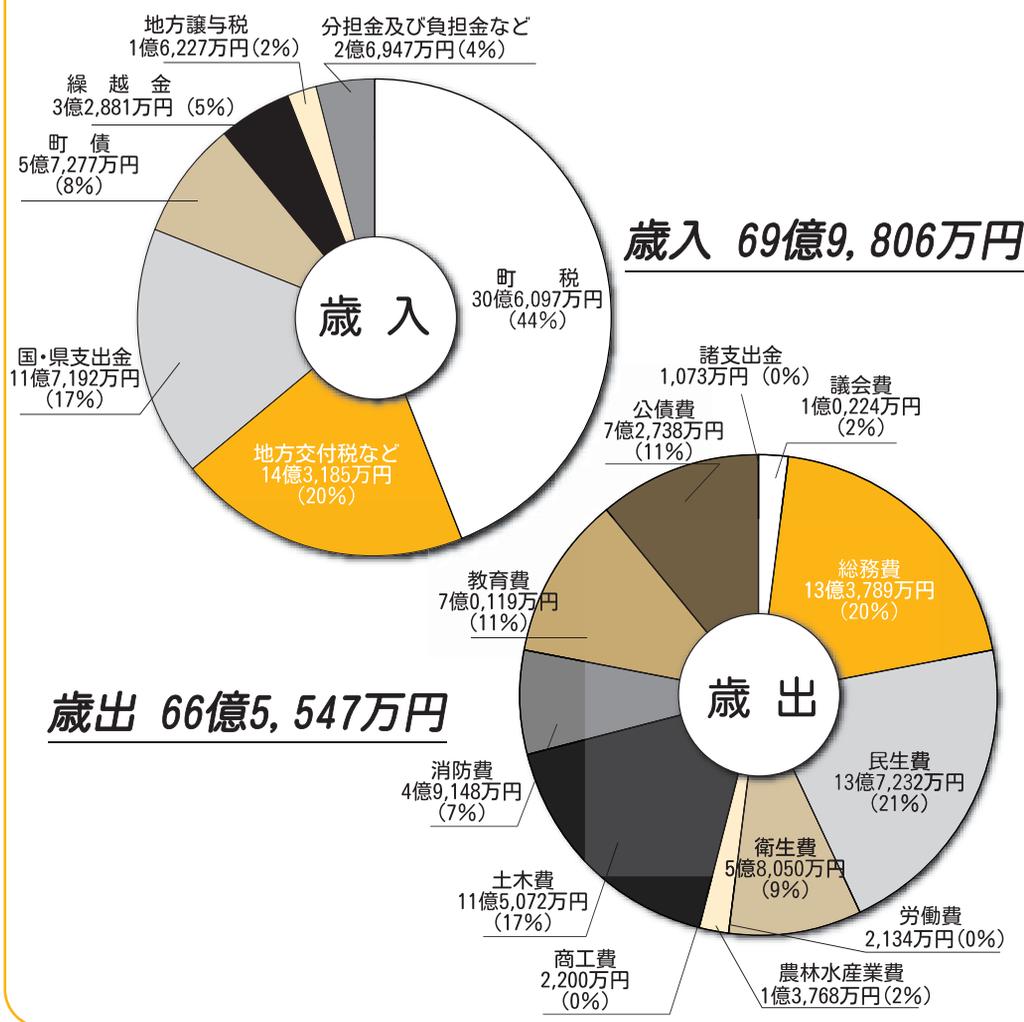
た66億円 8会計を認定

9月の議会定例会が9月8日から22日までの会期15日間で行われました。

この議会では、平成21年度一般会計歳入歳出決算など22議案が審議され、全て原案可決・認定されました。

主な内容は次のとおりです。

平成21年度 一般会計歳入・歳出決算



一般会計決算など
22議案を審議

平成22年 9月定例会議案審議結果

議案番号	議案名 議 案 内 容	採決結果
議案第40号	川島町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて 児童扶養手当法の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第41号	川島町国民健康保険条例の一部を改正する条例を定めることについて 医療保険制度の安定運営を図るため国民健康保険法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、条例を改正するものです。	全員賛成 原案可決
議案第42号	平成22年度川島町一般会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ3億1,853万4千円を追加し、総額64億8,653万4千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第43号	平成22年度川島町国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ3,934万7千円を追加し、総額22億1,493万1千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第44号	平成22年度川島町学校給食費特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ40万3千円を追加し、総額9,250万3千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第45号	平成22年度川島町下水道事業特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ554万6千円を追加し、総額4億7,645万4千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第46号	平成22年度川島町老人保健特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ36万5千円を追加し、総額885万9千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第47号	平成22年度川島町介護保険特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ1,964万6千円を追加し、総額12億5,664万6千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第48号	平成22年度川島町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 歳入歳出にそれぞれ117万5千円を追加し、総額1億5,073万6千円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第49号	平成22年度川島町水道事業会計補正予算（第1号） 収益的支出を72万5千円追加し、5億1,443万4千円とし、資本的支出を221万円追加し、9,261万円とするものです。	全員賛成 原案可決
議案第50号	平成21年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について 歳入総額69億9,806万4,892円、歳出総額66億5,547万1,645円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第51号	平成21年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額21億8,341万5,707円、歳出総額21億2,098万9,171円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第52号	平成21年度川島町学校給食費特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額9,315万8,248円、歳出総額9,301万9,203円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第53号	平成21年度川島町下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額9億5,412万3,477円、歳出総額9億3,249万8,241円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第54号	平成21年度川島町老人保健特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額1,796万4,035円、歳出総額911万8,131円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第55号	平成21年度川島町介護保険特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額11億8,066万1,097円、歳出総額11億4,696万648円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第56号	平成21年度川島町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について 歳入総額1億4,776万8,710円、歳出総額1億4,459万3,689円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第57号	平成21年度川島町水道事業会計決算認定について 収益的収入を4億7,365万857円、収益的支出を4億8,396万5,282円。資本的収入を2億5,500万7,875円、資本的支出を4億8,005万6,745円として、認定を求めるものです。	全員賛成 原案認定
議案第58号	町道路線の認定について（町道4686号線外1路線） 圏央道整備事業に伴い、新たに認定するものです。	全員賛成 原案可決
議案第59号	工事請負契約の締結について（飯島3号雨水幹線工事10-1工区） 飯島雨水幹線工事10-1工区について株式会社島村工業と工事請負契約を締結するものです。	全員賛成 原案可決
議案第60号	和解及び損害賠償の額を定めることについて（車両） 八幡地内で発生した配水管漏水事故による和解及び損害賠償額を定めるものです。	全員賛成 原案可決
議案第61号	和解及び損害賠償の額を定めることについて（家屋） 八幡地内で発生した配水管漏水事故による和解及び損害賠償額を定めるものです。	全員賛成 原案可決

西中グラウンド改修工事終了する

●川島町ひとり親家庭等の医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

問 現在のひとり親家庭の現状は。

答 21年度末で、97世帯、児童が61人です。

問 ひとり親家庭が97世帯で61人ですが、これはどういう意味か。

答 町には子育て支援医療費支給制度がありますので、小学生修了

前までの児童はひとり親家庭等医療費の対象として計上していないため、家庭数より児童数が少なくなります。

子育て支援医療費は今年4月から入院・通院とも15才までとなっています。

●平成22年度川島町一般会計補正予算（第1号）

問 赤ちゃんの駅については1か所10万円ですが、この補助金は今年度限りなのか。継続なのか。

答 継続事業ではなく埼玉県の中で目標4か所ですので、4か所になれば目標が達成しますので、それまでの事業となります。

問 教育事業債が720万円、2千250万円更正減になっているが、総体の事業費に補助金が入っているのか。

答 中山小学校太陽光発電設置事業予算1千638万円に対する2分の1で827万1千円の補助で、起債は町費負担分の9割の720

万円です。西中グラウンド改修工事は、3千万円の事業で、町費単独事業債の充当率は75%で2千250万円の起債です。

問 浄化槽の維持管理費的なものについて助成の考えがあるか。

答 小型合併浄化槽の普及率が90%を達成した時点で維持管理費の補助金交付要綱を準備しています。

●平成21年度川島町一般会計歳入歳出決算認定について

問 コンビニで住民票等証明書を発行できないか。

答 維持管理経費の面で現時点では課題があります。

●平成21年度川島町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について

問 監査委員の報告書の中で、収入未済額など国保のあり方で構造的な原因を含むとは何か。

答 国民健康保険は、制度創設以来、国民皆保険の中核として、地域医療の確保と地域住民の健康保



赤ちゃんの駅ステッカー

持増進に努めてきました。しかし、中高齢者を多く抱える国民健康保険は、医療費が年々増加している一方、無職の方、低所得の方の増加、そして、経済状況の低迷等、財政状況は極めて困難な状況が続いています。



西中学校グラウンド改修工事が完了

期待される四季の味覚村

●平成22年度川島町一般会計補正予算（第1号）

問 庁舎別館の第1次耐震診断業務内容について伺いたい。

答 別館は昭和43年度に建設し、約42年経過しており、今後耐震改修した場合の程度の耐用年数なのか、また、バリアフリー化のためエレベーター設置、トイレ改修などについての積算をしてもらうためです。これは新庁舎建設を考

えるのに、仮に現在の場所に建てた場合の費用対効果の判断にするためです。

問 新庁舎はどこに建設するのか。

答 新庁舎建設検討委員会第1回を開催し、すでに基本構想素案の説明を行いました。2回目以降は場所の選定について検討していく予定です。職員による研究会の考えでは3案があり、現在の場所、コミュニティセンター周辺、新規の場所が提案されています。

問 長楽用水路地区活動実践支援業務委託料の内容は。

答 事業実施前後の水質調査や事業効果を確認するため地域住民に対してパンフレットを作成するものです。

●平成21年度一般会計歳入歳出決算認定について

問 法人町民税で1号法人から9号法人があるが各何社あるのか。

答 1号法人は資本金1千万円以下で従業員50人以下です。

1号法人435社、2号法人3社、3号法人82社、4号法人13社、5号法人19社、6号法人5社、7号法人29社、8号法人7社、9号法人5社です。

問 すったてのB級グルメ大会について周知はどのようにされているのか。

答 町ホームページ等で周知しております。毎年B級グルメ大会は5月と11月に行われております。今年11月21日は加須市で行ないますので更に情報提供に努めていきます。

問 園芸産地形成モデル事業補助金についてはどのようなものか。

答 20年度に540万円、21年度に490万円を四季の味覚村事業に補助しています。

問 平成の森公園の管理委託料について、芝生の維持管理費はどのくらいか。

答 芝生管理費については567万円、メインはトラック内です。

が、公園内全体の芝生管理となっています。

●平成21年度川島町水道事業会計決算認定について

問 監査報告で逆ざや現象が続いていると報告があったが、今後の水道料金の見直しは。

答 水道事業審議会からの水道料金の見直しについての答申を踏まえ、かわじま産業団地への企業の進出状況等を見て、水道料金の算定をしているところです。



四季の味覚村



平成の森公園多目的広場

町の考えを問う

町政一般質問要旨

飯野 徹也 議員

- ・八幡団地内漏水事故について
- ・老朽水道管の更新と耐震化計画について
- ・水道経営の現状と料金の改正について

森田 敏男 議員

- ・次期川島町総合振興計画の策定について
- ・市野川堤防の築堤工事について
- ・県道鴻巣川島線歩道について
- ・町道について

佐藤 芳男 議員

- ・市民農園について
- ・サイクリング道路について
- ・長楽用水について
- ・中山公民館について

小高 春雄 議員

- ・すったて、呉汁を日本一の郷土料理に
- ・北海道沼田町との青少年交流事業について

道祖土 証 議員

- ・7月5日に発生した八幡4丁目の水道管破裂事故について
- ・観光農業の推進について
- ・ごみ焼却施設について

大島 欣一 議員

- ・高齢者の安否について
- ・子宮頸がんワクチンの接種の推進について

菊地 敏昭 議員

- ・スポーツ都市宣言について
- ・圏央道高架下の利用について
- ・サイクリング道路について



問 水道料金の値上げの考えは

答 25年度までを目安として検討する

飯野 徹也

町の水道行政について3項目の質問をしました。

問 7月8日に八幡団地内で起きた漏水事故の概要と被害状況、原因調査と今後の対応、また応急給水体制さらには事故の発生した幹線配水管の速やかな敷設替えの必要性、大型給水車の配備について町はどのように考えているのか。

答 今回事故の起きた管路については、速やかに耐震化と口径変更を含め、更新計画を進め、大型給水車の配備は、他の自治体などとの応援協定なども検討していきます。

生という事態は、配水管の地震対策を問うたのではないかと。町の配水管の耐震化の状況と、今後の計画についてどのように考えているか。

答 幹線の未耐震管路は約28km、更新費用は約15億円。今後、経営計画の検討を含め、早期に耐震化計画を策定していきます。

問 水道経営の現状と料金改定について。21年度の決算で、給水原価が供給原価を1㎡9円13銭上回る「逆ザヤ」現象が指摘されている。耐震化工事や施設の更新など、現状の料金体系では経営状況はますます悪化していくのではないかと。水道経営の状況と料金改定に対する町の考えは、厳しい経営状況ではあるが、インター周辺企業の変遷等の変化を見据え25年度までは据え置くことを考えています。



老朽化の進む水道施設



歩道の無い県道鴻巣・川島線

問 将来の町の指針となる次期総合振興計画について、町長はどのようなビジョンで計画の策定の方向付けをするのか。

答 「人・自然・景観を大切にしたい魅力ある町づくり」「町の資源と都市近郊を生かした、人で賑わう町づくり」「町が人を育み、人が町を育む活力と協働の町づくり」の3つを、基本理念としております。具体的には、定住人口減少の緩和を図りたいと考えています。引き続き町民と共に

問 市野川築堤工事の今後の計画について。

答 徒歩橋から南へ約350mの間は、歩道がなく大変危険な場所と承知しています。また、小見野小学校から北に向かい約1kmは歩道が整備されていますが、歩道は非常に狭く、人が通行するのがよとの状況です。関係の皆様のご協力をいただき歩道整備に向けて県に対して要望をしていきたいと考えています。

問 徒歩橋揚水機場樋管の撤去、及び愛宕揚水機場樋管の改築と上流への築堤工事が計画されています。

答 県道鴻巣・川島線の歩道整備について。

夢と希望の持てる町づくりに全力を捧げたく思っております。また、東部地域の土地利用についても工業系への誘導を図る地域4ヶ所、出丸本山ヶ谷戸、三保谷宿、谷中地域を指定しておりますが、いまだすべて埋められない状況です。



問 次期川島町総合振興計画のビジョンは

答 定住人口減少の緩和を図りたい

もり たし お
森 田 敏 男



問 長楽用水 水辺再生事業について

答 二カ年計画で整備します

さ と う よ し お
佐 藤 芳 男

問 今年4月開園した平成の森公園北側の市民農園の現状を伺います。

答 合計84区画のうち74区画が契約済みで、町内者12件町外者62件です。

問 川島町の農家と非農家の割合は、農家は約千二百戸、非農家は約六千戸です。

問 町内の非農家や多くの町外者のために規模拡大や家庭菜園の生涯学習講座・農機具保管所などが必要では

答 今後も都市近郊の立地条件を生かし、増設、利便性を検討します。

問 堤防の舗装が進み、既存の自転車道を利用すれば、川島町一周のサイクリング道路も可能では。

問 今回の整備で終わりではなく、継続が大事だと思います。また今後の維持管理の為に多くの町民、NPO、企業の参加が必要なのは、地元の皆さんにお願いすることで協議済みですが、必要に応じ協議していきます。今後は、県と調整しながら引き続きやっていければと思います。

問 二カ年計画、事業費5千万円の事業です。今後、極力自然を残し、松杭による土留め、幅員に余裕があれば遊歩道や階段などを整備する予定ですか。

答 県の水辺再生事業で長楽用水の整備が決定したとのことですが詳細を伺います。

問 堤防の管理道路で、自転車道としての指定は難しく、今後交通安全の問題など関係官庁と協議が整えば検討して行きます。



舗装の進む越辺川堤防



親しめる郷土料理を目指して



問

すったて・呉汁の

郷土料理を日本一に

町おこしの一環として

さらにPR活動に努めます

答

小高春雄

問 川島町商工会は、都会に一番近い農村というキャッチフレーズを作り、すったてを埼玉B級グルメに出品し、第1位となり、テレビ、新聞等で大きく取り上げられています。

こうした中で、行政、商工会が連携を図って郷土料理をさらに進めるべきと考え町の方針を伺います。

答 すったては、昔ながらの郷土料理です。野菜、地粉、ゴマと町で採れた産物で作るのがベストと考えます。現在も、マーケティング、IT

を活用し商品販売を研修していることですので、PR活動、野菜生産者にも呼びかけ、町のブランドに力を注いで行きたいと考えます。

問 本年度のすったて売上げ予想は5500万円以上とのことですか。

答 すったてを食べに来る方は、都内、県南、神奈川の人が多いとのこと、川島町のPRのため、遠山記念館と連携したり、農産物を売るようにしてはいいかがか。

問 遠山記念館と連携を図り入場者の割引、直売所でのPRに努めていきたい。そして、この郷土料理がさらに美味しく親しめる料理となるよう関係者と協議を進めていきます。

問 北海道沼田町へ伊草地区の児童が交流に行きましたが、その成果は、

答 北海道の自然、環境が違うが、沼田町の児童と野球交流試合、キャンプ場での野外炊飯、施設見学を通して、参加した喜びなど感想がありました。成果として両町の結びつきを深めることができたいと思います。



問

中部環境への加入要望書提出後は

答

5月に組合会議が開かれたが新たな進展はありません

さ い ど い さ む
道 祖 土 証

問 要望書を提出後の埼玉中部環境保全組合（以下中部環境）の状況は、

答 5月24日に組合会議が開かれ、吉見町長、鴻巣市長、北本市長による正副管理者会議の結果、重要な問題のため時間を戴きたい旨報告がされています。10月22日予定の組合議会を注視したいと考えます。

問 地元の方は平成19年の協定書の見直しと今回の中部環境加入問題で町に不信感を持っていますか。

答 見直しの協定書ができました事に対し、私がどうのこうのという話ではなく、当時の皆さん方に感謝申し上げなければいけないだろうと思

っています。

問 地元にはいつ説明をするのか。

答 まだ決定していませんので、お話しする段階ではないと考えています。

問 吉見町以外に建設が決定した場合を考えて6月8日以後の対応は、

答 川越市と何か広域化の仕事ができないかの中で、出丸橋の永久橋とごみ処理の問題等をできないかを、あたっている状況です。

問 県の2年間補助事業の四季の味覚村に対する町の支援の考えは、

答 町から補助金は支出していませんが、新たな事業展開の中で、必要があれば検討します。

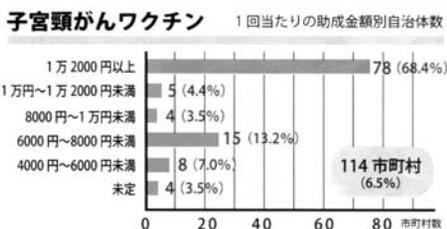
問 新規就農補助金、個人に300万円を町長は妥当と考えているのか。

答 多い少ないの話ではなく、従来補助要綱を踏襲いたしました。百万円以上の補助金受給者は、現在、該当者はいません。



川島町環境センター

全国助成状況



※1回当たり接種費用：1万3000～7500円
 (全額公費助成と報告のあった自治体からの聞き取り/初回接種と追加接種のある場合は、初回接種の費用)



他県での接種風景

あります。がんになる人とならない人が経済格差で決まるとすればそれはもはや福祉国家と言えるのかと疑問を持たざるを得ません。

全額公費助成を、また、昨年の無料検診は本町は13・1%（欧米70%80%）です。受診率、接種率の具体的な数字目標を決めて取り組むべきです。

子宮頸がんは、がん患者の中で唯一主要原因が明確になっている病気で、その原因は、常在ウイルスの1つであるHPVウイルスによる感染症であり、予防手段はワクチン接種をすることで、かなりの予防が可能と伺っています。子宮がんの罹患率は年間8千500人、20年死亡者数は2千500人です。昨年9月ワクチンが認証されました。ワクチン接種はかなりの予防が可能です。当町では来年度から全額公費助成により関係機関と調整を図り実施していきます。検診は受診率の向上に努めていきます。

近年20代から30代の若い女性の子宮頸がんが急増しております。罹患率年間1万人、年間3千500人以上の方が命を落としております。他のがんとの大きな違いは、ワクチン接種があることです。中学女子が対象年齢で予防率73%で細胞検診とビールス検査の2つの併用検査でほぼ100%がんを征圧できる唯一のがんです。ワクチンは3回接種で約5万円かかります。経済的に費用負担のできる家庭とできない家庭が



問 子宮頸がん ワクチン接種の推進は

来年度から全額公費助成をすべく条件を整え中です

お島 欣一



問 圏央道高架下の利用は

答 皆様のご意見を聞き検討します

あき 昭 菊 地 敏

川島ICと桶川北ICが開通し、側道も供用開始となり、町の東西を結ぶ、歩道付2車線の利便性の高い道路ができ、町の様相も変わってきています。圏央道高架下の土地の有効利用について伺います。

国土交通省では積極的に進めており、町でも町内の皆様の幅広いご意見も聞きながら検討します。

自転車保有率日本一の埼玉の特徴を生かし、本年度から国道道沿いに自転車道を整備する「ぐるっと埼玉サイクルネット構想」に着手、構想700kmのうち、320kmが整備済みで、残り380kmを段階的に整備していく計画です。

町の自転車道「通行可能な歩道」について伺います。



もったいない広々とした空間

町では、県の構想の「ぐるっと埼玉サイクルネット構想」と連動した形で町の見どころスポットを、めぐるルートの選定を関係機関と協議をしながら進めています。今後も幹線道路を優先に歩道を整備し、安全安心の町づくりにも寄与していく考えです。

昭和52年1月16日、スポーツ都市宣言、平成4年11月3日に、生涯学習推進のまちを宣言し、1人1スポーツ、1人1学習、1人1ボランティアを提唱しました。実績と今後の推進施策について伺います。

今後ともスポーツ施設の整備充実、施設の広域利用、各種行事、スポーツ教室、地域スポーツの推進、指導者の育成研修等に努めます。

総務経済建設常任委員会

所管事務調査

1、調査期間

平成22年7月13日・14日

2、視察地

新潟県胎内市、新潟市

3、視察課題

- ① 地域活性化事業について（胎内市）
- ② 特産品を生かしたまちづくりについて（新潟市南区）

胎内市は平成17年9月に中条町と黒川村が合併し、胎内市となりました。

旧黒川村の地域づくりは、昭和40年代に「観光立村」を目指し村営ホテル3軒、スキーリフト10基を設置し「自然の王国」づくりを旨とし、地域が発展してきたとのこと。そして、胎内フラワーパーク、昆虫の家、自然天文館、彫刻美術館などを視察しました。

胎内フラワーパークは、平成3、4年度事業で農村地域ふるさと生活圏事業として、事業費1億6千万円で国、県の補助を受け、造成面積2・7ha、花壇、ロックガーデン、薬草園、噴水施設などがあります。

胎内昆虫の家は、総工費3億円、

昭和61年から6年をかけて「魅力ある観光地事業」等の補助を受けて建設。地元出身の世界的昆虫学者の馬場金太郎博士の世界的収集品約6万点を展示しています。

年間来客者数は平成20年度で81万9千人となっています。さらに、黒豚のハム、ソーセージ、ワイン、米粉など多種類の特産品をつくり

地場製品と観光施設を組み合わせた、観光産業の充実を図っています。

新潟市南区は旧白根市、旧味方村、旧月潟村の3市村の区域です。6戸の観光農園では一年中フルーツ狩りができるといのが特徴で、毎年約10万人の来園者があり、それぞれ農家が競って味へのこだわりと有機栽培、低農薬、お客様

の立場にたった観光農園づくりを進めておりました。雨の日でもフルーツ狩りが出来るよう屋根をつけたり、トマトやいちごも採りやすい位置に栽培するなどお客様の声、アンケートの意見を生かして経営していました。また、ウサギやヤギと触れ合う場所や、バーベキューなどを楽しめることで、各農家が集客に工夫をしていました。

文教厚生常任委員会

所管事務調査

1、調査期間

平成22年6月29日・30日

2、視察地

福島県二本松市、会津若松市

3、視察課題

- ① 小学校の統廃合について（二本松市）
- ② 給食センターの民間委託について（会津若松市）

福島県二本松市は県の中通りに位置しています。二本松市の小学校統廃合についてですが、旧安達町の上川崎小学校、下川崎小学校を統合したものです。この小学校

統合には懇談会を開催して地域の意見の集約を図り、その結果、町民アンケートでは賛成93%で早急に統合すべきとの意見が多くありました。平成22年4月1日に川崎小学校に統合し、新設校として開設されました。

また、7小学校を1校に統合した旧東和町では、新たに中学校に隣接した用地取得から校舎建設を進め、東和小学校としました。経緯は、平成8年に小学校統廃合検討委員会が組織され、平成11年1月に町民アンケートを実施し、賛

成が50%どちらとも言えない36%、反対14%でした。平成11年3月に促進委員会を組織し、平成12年3月統合後は1校にすべきと促進委員会から意見がありました。さらに同年12月には東和中学校周辺に新設すべきとの意見が出されました。

平成17年から建設が進められ、平成22年4月に開校し、児童数336人、通学はスクールバスとコミュニティバスを併用し、年間運行費は3千600万円です。

次に、会津若松市は、福島県の西部、会津盆地の東南に位置しています。

当市の学校給食は小学校19校、中学校11校、幼稚園4園の計34校に給食を配食しています。

給食センターの民営化ですが、民間委託が13施設、直営が6施設で、事業費は、3億6千154万8千円です。民間委託への移行の考え方は安心、安全で美味しい給食を提供、食育の充実、食環境の整備を十分留意し実施するものです。調理、洗浄、運搬業務を民間委託の開始しています。

「川島町議会だより」に対する感想や、ご意見・ご要望がありましたら議会事務局までご連絡ください。

議 会 日 誌

議会運営委員会所管事務調査

議会運営委員会では、調査研究事項として所管事務調査を下記の日程で実施します。

調査報告については、次号の議会だよりでお知らせいたします。

調査事項 ・ 議会運営について

・ 議会の活性化について

調査方法 現地調査

調査日程 平成22年10月21日・22日

調査場所 香川県宇多津町

高知県の町

11月30日

12月の定例会は

開催予定です。

表紙解説

秋晴れの空の下、川島幼稚園の運動会が、保護者多数参加の10月2日に開催されました。

園児の皆さんが、元気よく多くの種目に一生懸命参加し、日頃の練習の成果を発揮され、大変立派に見えました。

年長組の皆さんにとっては、最後の運動会となりましたが、幼稚園時代の懐かしい思い出になることと思います。

また、これからは、寒い季節になっていくと思いますが、お体気を付けて元気よく登園してください。

(写真・文章／森田)

編集後記

「暑さ寒さも彼岸まで」この日を境にさすがの猛暑もおさまり、秋風が心地よく感じます。

9月議会は、21年度歳入歳出決算の認定審議もあり、各委員会でも活発な質疑が交わされ、22日に閉会しました。

町においては人口の減少、少子高齢化、学校運営と教育、農業対策、地場産業の振興、地域開発、生活環境の整備等々、課題が多く、議会ではこうした問題を掘り起こし、討議提言しております。

「議会だより」ではこういった議会活動に対し、皆様の率直なご意見、ご指導を賜りたく紙面を通してお伝えしており、今後も引き続きご愛読をお願いいたします。

(土屋)

議会だより編集委員会

委員長	道祖土	副委員長	吉田豊	委員	土屋祥吉	菊地敏昭	佐藤芳男	森田敏男	爲水順二	鈴木久雄	相談役
-----	-----	------	-----	----	------	------	------	------	------	------	-----

7月

- 23日 県道川越上尾線整備促進期成同盟会総会
- 27日 青森県平内町議会視察

8月

- 3日 文教厚生常任委員会協議会
- 4日 大里比企広域農道整備事業推進協議会
- 5日～6日 埼玉県町村議会議長会県外視察
- 9日 首都圏中央連絡道路建設促進期成同盟会総会
- 10日 議会運営委員会協議会
- 20日 教育講演会
- 25日 比企広域市町村圏組合議会
- 30日 川島町新庁舎建設等検討委員会

9月

- 1日 議会運営委員会
議員全員協議会
- 2日 埼玉県防災ヘリコプター墜落事故による殉職者合同葬
- 3日 総合振興計画審議会
- 5日 第25回川島町防災訓練
- 8～22日 9月定例会
- 10日 議会報編集委員会
- 13日 町内企業研修
- 17日 川島町マスコットキャラクターデザイン及び愛称選定委員会
- 22日 議員全員協議会
- 28日 川越地区消防組合議会

10月

- 4日 総合振興計画審議会
議会報編集委員会
- 7日 議会運営委員協議会
- 8日 議会報編集委員会
- 11日 第42回町民体育祭
- 14日 川島町新庁舎建設等検討委員会
- 15日 埼玉県町村議会議員研修会
- 21～22日 議会運営委員会所管事務調査

お問い合わせ 議会事務局

TEL 049-297-1811 (内線)411 / FAX 049-297-9346

E-mail:kawajima-gikai@gamma.ocn.ne.jp